

那覇港総合物流センターⅡ期整備運営事業の概要

○整備理念

那覇港総合物流センターは、本県の実生活・産業関連貨物の大部分を占める港湾貨物を取り扱う那覇港において、集貨・創貨を促進することにより取扱貨物の増加を目指し、物流の高度化を図るとともに、流通加工等の新たな価値を生み出す付加価値型産業の集積を図る総合物流施設として整備するものである。

□那覇港総合物流センターの予定地は、国際コンテナターミナルと国内貨物を取り扱う岸壁の間に位置していることから、国際物流機能の集積を促進する総合物流センターの建設に適した場所である。

那覇港公共国際コンテナターミナル

予定地【約5ha】

物流センターⅠ期
(約2.6ha)
R元年5月開業

物流センターⅡ・Ⅲ期

那覇港総合物流センター整備概要(第Ⅰ期)

- 整備主体: 那覇港管理組合
- 事業期間: 平成25年度～平成30年度
平成26年度 : 実施設計
平成27～30年度: 建設工事
- 施設概要 : 3階建、専有区画面積 約3.2ha
マルチテナント型

国内貨物岸壁

那覇港総合物流センターⅡ期整備運営事業の事業方式

事業方式：PFI法に基づく貸付（施設の設計・建設・維持管理・運営型PFI）

- 那覇港管理組合が選定事業者に用地を貸付。
- 選定事業者は、PFI法に基づき、独立採算事業として事業を実施。
- 選定事業者が総合物流センターⅡ期の施設設計・建設工事、運営を行う民設・民営方式。

